

私の祖父は謹厳実直で温厚な人であったが、朝の味噌汁に「麩」が入っていて、熱くて、口の中を火傷したために、祖母に「麩の味噌汁はやめるように」と言っただけらしい。

今日の給食からほぼ完全な献立となり、「麩の味噌汁」がでたので思い出して笑ってしまった。

給食が出るのはご家庭にとってもありがたいことだと思う。ここ数か月、子供たちの昼食に気を遣いながら仕事に行かれたり、家にいても三食の用意をしたりすることは大変だったと思う。

私も臨時休校中は「配達の手当」を毎日いただいていた。朝、コンビニに寄る時間が省かれるし、栄養的にもバランスがよい。値段も安かった。それでも、この数か月間で小遣いが昼食代に取られてけっこう、ふところは厳しかったが…。

味噌汁に話を戻すと、以前ほど味噌汁をいただく回数が減っていることに気付く。子供の頃は毎食、味噌汁があるのが当たり前。スパゲッティだろうが、カレーライスだろうが、朝食がパンだったときも出ていたように思う。しかし、味噌汁も結構な手間と、味噌汁をつくる間に、おかずがもう一品作れたりして、省略されることもあるように思う。

味噌汁は暑い夏に「塩分・アミノ酸」を補給し、具材からも栄養がとれる日本の知恵の結集である。

今日の味噌汁も給食センターの皆さんに感謝しながら、おいしくいただいたのは言うまでもない。